

社会福祉学科

介護福祉 専攻

2 年

科目名： 介護総合演習Ⅲ				担当教員 氏名： 宮嶋 潔	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次 前期	専門選択科目	演習	選択	介護福祉士(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			実務経験をもとに実習生としての心構えや行動等について事例を交えながら授業する。		
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード	
本科目は、多様な場で生活する利用者・家族とのコミュニケーションを通してサービス機能と利用者像を理解することを目標とした介護実習Ⅰ-②(訪問介護実習)、Ⅰ-③(障害者施設等実習)のための予習・復習指導科目です。				障害福祉サービス、ホームヘルパー、家族、地域、アセスメント、エンパワメント	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 4. 5. 6. 7. 9	
A 知識・理解力	居宅で暮らす利用者や障がい者が生活する場や生活の実際を知り、支援方法を理解することができる。				
B 専門的技術	高齢者や障がい者の生活支援技術の実践力をやしなう。				
C 論理的思考力	利用者の生活状況からアセスメントし、ニーズを思考することができる。				
F チームワーク・リーダーシップ	同職種・他職種との連携のあり方を学ぶことができる				
成績評価の基準と方法： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト： %	レポート： 30 %	発表： 50 %	実技試験： %	その他： 20 %	
特記事項： その他とは、授業への取り組みの姿勢や提出物の遵守をいいます。					
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：本科目は、アクティブ・ラーニングの一環として、実習直前に予習打ち合わせ報告会、実習直後に復習報告会を巡回教員単位で実施します。また全体で実習報告会を行います。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：テストや提出レポートにコメントを記載して返却します。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①介護実習Ⅰ-②の概要と目的および実施方法について			【予習】テキストを読んでくる。 【復習】①の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
②居宅介護事業所とホームヘルパーの役割			【予習】テキストを読んでくる。 【復習】②の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
③居宅介護のしくみと利用者について			【予習】テキストを読んでくる。 【復習】③の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
④居宅介護実習に向けた生活支援技術(家事支援)について			【予習】テキストを読んでくる。 【復習】④の復習する。	【予習】30分 【復習】30分	
⑤介護実習Ⅰ-③の概要と目的および実施方法について			演習を振り返る	【復習】30分	
⑥障がい者施設等の理解			演習を振り返る	【復習】30分	
⑦利用者支援のしくみと利用者理解			演習を振り返る	【復習】30分	
⑧中間評価と振り返り			演習を振り返る	【復習】30分	
⑨介護実習Ⅰ-②の記録について			演習を振り返る	【復習】30分	
⑩介護実習Ⅰ-③の記録について			演習を振り返る	【復習】30分	
⑪予習打ち合わせ訪問に向けて			演習を振り返る	【復習】30分	
⑫特別講義(居宅介護実習)			演習を振り返る	【復習】30分	
⑬特別講義(障害者施設等実習)			演習を振り返る	【復習】30分	
⑭介護実習Ⅰ-②、Ⅰ-③予習オリエンテーション			演習を振り返る	【復習】30分	
⑮報告会			演習を振り返る	【復習】30分	
使用テキスト： ・最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」 中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会 ISBN978-4-8058-5770-0 ・「令和2年度実習要綱」			その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 実習に向けての重要な科目です。積極的に取り組んでください。					